

古文ドリル：「たり」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「たり」の3用法

古文の「たり」は **2種類の助動詞** + 動詞の活用語尾 で出てきます。

種類	接続	訳
① 完了・存続「たり」	連用形	～してしまった／～している
② 断定「たり」	体言（限定的）	～である
③ 動詞「足る」「立つ」などの連用形+ラ変補助	—	～である状態

識別の鉄則

1. **連用形+たり** → 完了・存続
2. **体言+たり**（武士たり等） → 断定（漢文訓読体）
3. **形容詞・形容動詞語尾「～たり」** → 形容動詞型活用

完了・存続の見分け

用法	判別
完了	動作の完了（～してしまった）
存続	動作後の状態継続（～している）

例： - 「咲き**たり**」（完了）：咲いた - 「咲きてあり」 → 「咲き**たり**」（存続）：咲いている
→ 文脈で判別。多くは存続。

🎯 解き方のコツ（時短テクニック）

「識別の鉄則」は文法的に正しい順序。
こちらは **試験本番で3秒で答えを出す** ための実戦テクニックです。

コツ① 「たり」の直前を見るだけで9割決まる

「たり」の直前が **連用形（動詞・形容詞）** か **体言（名詞）** か、ここだけ見る。 - 連用形+たり（咲きたり／降りたり／祈りたり） → **完了・存続** - 体言+たり（武士たり／主たり／仏徒たり） → **断定**

入試では9割以上が完了・存続。迷ったら完了・存続で正解率が高い。

コツ② 断定「たり」は漢文訓読体のニオイ

断定「たり」は和文ではほぼ出ない。 - 「武士たり」「主たり」「徒たり」「仏徒たり」のような **漢語の体言+たり** が来たら断定 - 「～たれば」「～たりけり」と続く時、直前が体言なら断定

「武士・主・徒・人」など身分・職業を表す体言の後ろは断定の出現率が高い。

コツ③ 完了か存続かは「文脈で動作中？それとも終わった？」

ニュアンスの区別は厳密にやろうとすると沼。基本は次のルートで決める。 - 動作の完了（～してしまつた）：「咲きたり」 = 咲いた - 動作後の状態継続（～している）：「咲きたり」 = 咲いている

迷ったら **存続を優先**。古文「たり」は存続用法が圧倒的に多い。

コツ④ 「たる／たれ／たれ」の活用形は下接語で即決

- ・ たる+体言 → 連体形（咲きたる花）
- ・ たれ+ば／ども → 已然形（咲きたれば／たれども）
- ・ たれ（命令） → 命令形（告げたれ！）

「たれ+ば」が来たら **已然形+順接**で「～したので」とほぼ自動翻訳できる。

試験本番でのチェック順序

1. 「たり」の **直前** を見る（連用形？ それとも体言？）
2. 連用形なら → 完了・存続で確定（迷ったら存続）
3. 体言（特に漢語）なら → 断定で確定
4. 「たる／たれ」の活用形は **直後の語** で判断

→ この順番で **3秒** で答えが出ます。

よくある引っかけ

- ・ 「サ変連用+たり」（行幸したり／出仕したり）を断定と勘違いする（実は連用形+完了）
- ・ 「来たりたり」のような「**たり**」が**連続**する形で混乱する（前は補助動詞、後ろが助動詞）
- ・ 「堂々たり」のような **形容動詞タリ活用** を断定と混同する（漢語+たり一語で形容動詞）

採点表

- 基礎 (Q1~Q20) : /20
- 標準 (Q21~Q50) : /30
- 応用 (Q51~Q80) : /30
- 入試レベル (Q81~Q100) : /20
- 合計 : /100

【第1部】 基礎編

Q1. 「たり」の用法を答えよ。

物書きたり。

Q2. 「たり」を識別せよ。

武士たり。

Q3. 「たり」を識別せよ。

月出でたり。

Q4. 「たり」を識別せよ。

古典塾の主たり。

Q5. 「たり」を識別せよ。

風吹きたり。

Q6. 「たり」を識別せよ。

庭に花咲きたる。

Q7. 「たり」を識別せよ。

仏に祈りたり。

Q8. 「たり」を識別せよ。

雪降りたれば、道見えず。

Q9. 「たり」を識別せよ。

古き人たり。

Q10. 「たり」を識別せよ。

鳥鳴きたり。

Q11. 「たり」を識別せよ。

嵐山に登りたる人。

Q12. 「たり」を識別せよ。

月隠れたりければ、暗し。

Q13. 「たり」を識別せよ。

物言ひたれども、答へず。

Q14. 「たり」を識別せよ。

春来たり。

Q15. 「たり」を識別せよ。

古典の道に進みたり。

Q16. 「たり」を識別せよ。

静かなる夜なりたり。

Q17. 「たり」を識別せよ。

物書きとして名声を得たり。

Q18. 「たり」を識別せよ。

古き友、いま生きたり。

Q19. 「たり」を識別せよ。

都に生まれたり。

Q20. 「たり」を識別せよ。

雪深く積もりたり。

基礎編 / 20

【第2部】標準編

Q21. 「たり」を識別せよ。

古典の道、究めたり。

Q22. 「たり」を識別せよ。

法皇、御幸したりけり。

Q23. 「たり」を識別せよ。

古き寺、いまでも残りたり。

Q24. 「たり」を識別せよ。

武士たり、また文人たり。

Q25. 「たり」を識別せよ。

月、清く照りたり。

Q26. 「たり」を識別せよ。

風吹き、波立ち**たり**。

Q27. 「たり」を識別せよ。

雪のいと高う降り**たる**を見て、…

Q28. 「たり」を識別せよ。

武士**たれば**、なほ刀を持つ。

Q29. 「たり」を識別せよ。

我れ仕うまつり**たり**。

Q30. 「たり」を識別せよ。

言ひ**たり**つる人。

Q31. 「たり」を識別せよ。

物言ひも**たり**、行ひも**たり**。

Q32. 「たり」を識別せよ。

寝**たる**人、起きず。

Q33. 「たり」を識別せよ。

雨降りたるを、出でられず。

Q34. 「たり」を識別せよ。

古き世にありたりける人。

Q35. 「たり」を識別せよ。

物食はずして痩せたり。

Q36. 「たり」を識別せよ。

知りたれども、隠す。

Q37. 「たり」を識別せよ。

雪降りたる夜。

Q38. 「たり」を識別せよ。

名にし負ふ都鳥たり。

Q39. 「たり」を識別せよ。

我れ仏徒たり。

Q40. 「たり」を識別せよ。

その寺、京にありたりけり。

Q41. 「たり」を識別せよ。

古文学びたりけり。

Q42. 「たり」を識別せよ。

仕うまつりたる御方。

Q43. 「たり」を識別せよ。

風雅を解する人たり。

Q44. 「たり」を識別せよ。

古典の道を究めたる人ら。

Q45. 「たり」を識別せよ。

月、いま隠れたり。

Q46. 「たり」を識別せよ。

古き友、なほ生きたれば、訪ね給へ。

Q47. 「たり」を識別せよ。

いざ参りたれかし。

Q48. 「たり」を識別せよ。

知りたりけり。

Q49. 「たり」を識別せよ。

物言ひたるを、悔やむ。

Q50. 「たり」を識別せよ。

京の主たり。

標準編 / 30

【第3部】 応用編

Q51. 「たり」を識別せよ。

古典の心を解したりける人。

Q52. 「たり」を識別せよ。

我れ歌詠みたるを、人皆称ふ。

Q53. 「たり」を識別せよ。

風吹き**た**れば、舟漕ぎ出でぬ。

Q54. 「たり」を識別せよ。

名にし負はばいざ言問はむ都鳥、なほ我れに告**げ**たれ。

Q55. 「たり」を識別せよ。

古き寺に祈り**た**る僧。

Q56. 「たり」を識別せよ。

武士**た**りしが、いま俗にあり。

Q57. 「たり」を識別せよ。

古典の心を尽く**し**たるを、人知らず。

Q58. 「たり」を識別せよ。

春過ぎて夏来**た**れり。

Q59. 「たり」を識別せよ。

物のあはれを知り**た**る人にあらず。

Q60. 「たり」を識別せよ。

一国の主たれば、民を治む。

Q61. 「たり」を識別せよ。

雪深く積もりたれば、道閉ざさる。

Q62. 「たり」を識別せよ。

名にし負ふ都鳥たりけり、と語る。

Q63. 「たり」を識別せよ。

古典の才に秀でたる人。

Q64. 「たり」を識別せよ。

雨止みたる夜。

Q65. 「たり」を識別せよ。

物言ふ間もあらずして、立ち去りたり。

Q66. 「たり」を識別せよ。

古典の心を体得したる御方。

Q67. 「たり」を識別せよ。

物のあはれを知りたる人にこそ。

Q68. 「たり」を識別せよ。

古き世にありたりける人、いま語る。

Q69. 「たり」を識別せよ。

我れ仏徒たれば、戒律を守る。

Q70. 「たり」を識別せよ。

物のあはれを知りたれども、口に出さず。

Q71. 「たり」を識別せよ。

月、雲に隠れたれば、星明らかなり。

Q72. 「たり」を識別せよ。

古典の道に身を捧げたる人。

Q73. 「たり」を識別せよ。

京の都に栄えたる世。

Q74. 「たり」を識別せよ。

仕うまつりたるを、なほ続く。

Q75. 「たり」を識別せよ。

鶯鳴きたりけり。

Q76. 「たり」を識別せよ。

古き寺、いま壊れたり。

Q77. 「たり」を識別せよ。

風吹き、雲流れたり。

Q78. 「たり」を識別せよ。

古典の道、いまだ究めずして、なほ歩みたり。

Q79. 「たり」を識別せよ。

春雨降りたりけり。

Q80. 「たり」を識別せよ。

我れ古典の徒たり。

応用編 / 30

【第4部】 入試レベル

Q81. 「たり」を識別せよ。

雪のいと高う降りたるを、例ならず御格子参りて、…

Q82. 「たり」を識別せよ。

京にて生まれたりし女子、国にてにはかに失せにしかば、…

Q83. 「たり」を識別せよ。

名にし負はばいざ言問はむ都鳥わが思ふ人はありやなしやと問はれたりければ、舟人涙にむせぶ。

Q84. 「たり」を識別せよ。

行く川のながれは絶えず、もとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、つひに消えたり。

Q85. 「たり」を識別せよ。

心ある人たりしが、いま俗にまみる。

Q86. 「たり」を識別せよ。

我が祖、武士たりけり。

Q87. 「たり」を識別せよ。

春来たり、夏来たり、秋来たりぬ。

Q88. 「たり」を識別せよ。

古典の道、なほ歩みたれば、心安らぐ。

Q89. 「たり」を識別せよ。

春来たりけり。

Q90. 「たり」を識別せよ。

心ある人たれば、これを尊しとせむ。

Q91. 「たり」を識別せよ。

仕うまつりたりつる年月。

Q92. 「たり」を識別せよ。

我れ古典の徒たりければ、なほ学ぶ。

Q93. 「たり」を識別せよ。

物のあはれを知りたる人々の心。

Q94. 「たり」を識別せよ。

古典の心を尽くしたりけるを、いまも忘れず。

Q95. 「たり」を識別せよ。

雪深き山に閉ざされたり。

Q96. 「たり」を識別せよ。

一国の長たれば、民を慈しむ。

Q97. 「たり」を識別せよ。

物言ひたる罪、いま赦されず。

Q98. 「たり」を識別せよ。

古典の心、極めたり。

Q99. 「たり」を識別せよ。

我れ歌詠みたるを、世に伝ふ。

合計 / 100

あしがき

「たり」の識別の核心： - **連用形＋たり** → 完了・存続（圧倒的多数） - **体言＋たり**（武士たり等）
→ 断定（漢文訓読体・稀） - **形容動詞「堂々たり」など** → 形容動詞型活用

著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

© 個別指導塾フィット / 中本裕太 <https://kotennosensei.com>